



第 44 回全関西女子学生バスケットボール選手権大会 まとめ

1. 総務部

【ID について】

- ・当日 ID を忘れたチームが試合を行っていた。
- 本来、ID がない場合はフロアに入ることができないため、ID の意味をチームにも学連員にも再認識させる

【表彰式・閉会式について】

- ・表彰式の準備に時間がかかってしまった。
- 表彰式の準備時間を短縮できるよう工夫する。
→個人賞候補に入っている選手は、事前にデーターを作成しておく。

【発送について】

- ・発送リストに、手持ち又は会場・事務所に送る詳細も記入する。
 - ・パンフの再印刷により、企業・参与・顧問・協会の方へ 2 回発送した。
- 返信用封筒をいれ、新パンフと共に再郵送した。

【ハーフタイムショーについて】

- ・コロナ明け初めてのハーフタイムショーでしたが、総務内で連携をとり、スムーズに行うことができた。

【その他】

- ・ホワイトボードなどを用いて、観客席案内を掲示しスムーズな誘導ができた。
- ・ウェブパンフについて、発送日の入力漏れがあった。

2. 財務部

○収入

【チーム参加費】

参加費：参加費@35,000×チーム数 43 チーム
合計 1,505,000 円

【パンフレット】

- ・チーム一括：一括購入費@600×冊数 458 冊
合計 274,800 円
- ・一般パンフレット売上：一般パンフレット費@800×冊数 172 冊
合計 137,600 円



・WEB 一般売上：WEB パンフレット費（送料込み）@1000×冊数 48 冊（5 月 5 日現在）

合計：¥48,000

■パンフレット購入合計 冊数 678 冊 合計：460,400 円

【チケット代】

一般 @1000×231 合計：231,000 円

中高生 @500×24 合計：12,000 円

【オリジナル T シャツ・ロング T シャツ・ポロシャツ】

T シャツ：@2600×554 枚

合計：1,440,400 円

ロング T シャツ；@3000×175 枚

合計：52,500 円

ポロシャツ；@3200×30 枚

合計：96,000 円

オリジナル T シャツ 合計 枚数 759 枚

合計金額：1,588,900 円

○総括

- ・売上と残りの冊数があっているか分からなかった
→パンフレットの販売管理表などの使い管理する。
- ・会場にパンフレットがないという状況があった
→大会期間中の在庫管理計画を立て、試合終了時に追加配送数と配送手順を確認する。
- ・Web パンプで入金の確認漏れがあった
→入金をしたらメールをしてもらい、さらに財務も抜けの無いように全員で確認する

今後は、いずれも確認、処理を確実に実施する。

3・広報渉外部

【反省点】

○パンフレット

- ・Web パンフレットを購入いただいた方にメール返信したあと Excel に反映できておらず入金確認や発送に影響が出た。
→メールの返信をした後必ず Excel に反映をさせる。



- ・パンフレット再印刷

→校正の際に間違いはないか細かいところまで確認するようにする。

- バスケプラス

- ・バスケプラス受け取り日の設定が運営日になっていた

→確実に受け取れる日に設定できているか再度確認をする

- ・バスケプラスを依頼する際、チームからエントリーが出揃っている状態でないといけなが競技部が追加エントリーの締切り日を変更していた為、依頼ができない状態となっていた

→何時迄にエントリーのデーターが必要なのかを競技部に伝えるようにする。

→追加エントリー締めきり日を前年より変更する際はそれに伴って問題が生じないか他部署に確認する。

- ・学連員がスタッツを付けた際試合間でのアシストが一本もなく表彰規定に影響する為、付け直しを行った

→チームだけではなく学連員にも再度スタッツの付け方を覚えてもらうために講習会を開く

- YouTube

→佐々木さんより以前使用していたマイクよりも長いコードのマイクをいただきましたがカメラとの相性が悪く雑音が入ってしまった

→佐々木さんに連絡を取り再度新しいマイクをいただくこととなった

- ・チームに YouTube 配信を手伝って頂いた際に画面に広告が出ている状態が続いたり、ピリオドの変え忘れがあったりしたが確認できていなかった

→学連員がしっかりと確認をして指摘する

- その他

- ・拡大版星取り、トーナメントに日程などが書かれた状態だった為、修正テープや白紙を貼り付けて試合結果や勝ち上がりを記入した。

→掲示板に修正して入稿する

- ・プレスメールに添付忘れやミスがあった

→メールを送信する前に再度確認する。

- ・Twitter に結果を載せ忘れていた

→Instagram のストーリーと Twitter はセットで結果をアップすることを徹底する。

【よかった点】

- ・MIP 賞の告知を会場では QR コードの掲示、SNS ではチームに宣伝してもらうなどこだわることが出来た。また投票数も 100 件（当日総数）を超えるなど、沢山の方から投票して頂くことが出来た。

- ・コメントも沢山あり、後日 SNS にて一部抜粋して公開した。

- ・MIP 賞を獲得した選手のインタビュー動画、プレイ集を動画にまとめて公開した。
- ・チームのロゴを活用し、試合結果などの画像に使用することが出来た。
- ・表彰式の際にインスタライブを行い会場に来られていない方にも観ていただくことが出来た。
- ・大会前に YouTube 収益化を行った。
- ・有料日の会場掲示に力を入れた。
- ・個人賞の BEST10 を上位リーグだけではなく 5 位～8 位リーグでも集計し、会場にも 1 日ごとに掲示した。また後日 SNS にて最終結果も公開した。

4. 競技部

- ・今大会のエントリーデータをまとめる際、チームから送られてきたエントリーと追加分で送られてきた追加エントリーを一つのデーターにまとめていたが、データーの漏れが今後出てくる可能性があるため、今後はチームから送られてきたデータをそのまま使用する。
- ・当日のエントリーチェックにて、大会のエントリーはしているが、学連への加盟ができていないメンバーがいた。発覚した日の前日はエントリーチェックにミスがあり、ベンチに入っていたが、その日はベンチには入れず、観客席から試合を見るように対応した。
→エントリー用紙にエントリーされている選手・スタッフで加盟ができていつかの確認をする必要がある。また、当日のエントリーチェックも JBA 選手証とパンフレットを 2 人ともチェックして二重確認をする必要がある。
- ・爪について
→今回ジェルネイルをしている大学が複数見られたため、爪についての確認や対応が必要とされる。
- ・昨年と同様グループリーグにしたことにより、多くの試合数を確保できた。
→多く試合数が確保できたが消化試合も多く見られたため、今後検討していく必要がある。
- ・コンディショニングスタッフの配置
→今回新しくコンディショニングスタッフを配置したことで、部員数が多いチームは一人でも多くベンチに入ることができ、ベンチ内がスムーズに回っていたため、今後も検討し



ていきたい。

- ・今大会の試合を通じて、チームの T0 のスキルアップを目指せば、より良い大会運営ができると思った。

→今後、チームを対象とした T0 講習会を検討していく。

- ・5 月 4 日の設営の際に、コート設営に時間がかかってしまい、第一試合開始が 5 分遅れてしまった。

→ラクタブ会場ではサークルライナーを使用するため、競技部学生は使い方、ラインテープの引き方を理解できるようにする。

- ・得点板に貼り付ける大学名の三文字表記をチーム側が忘れてしまい、紙にペンで書き対応することがあった。

→今後、特に YouTube 配信の際に忘れてしまった場合に学連が予備を持っておくように対応をする必要がある。

- ・順位決定リーグの対戦順について、決勝戦までの試合結果により、決勝戦の対戦が 1 位・2 位ではない可能性が出てくる。

→今後リーグの対戦順について検討する必要がある。

5. 審判部

1. 全体

- ・得点板について

新ルールを理解しておらず、得点板の三文字表記の位置を大会中に何度か変更することがあった。

→学連員全員が JBA ルールを確認し理解、共有をして運営を行うようにする。

関西女子学連主催の大会ではスコアボードの設置方法を 2023 年 4 月 13 日に更新されたルールで行う。

- ・割当確認について

次の日の割当が確定しリマインド配信をする際、確認をせずに配信をしてしまい出身校等の被りがあり、再度リマインド配信をすることがあった。

→再リマインド配信をする前に毎回の配信と同様に被り等の割当確認を行ってから配信をする。



・審判員用飲料水について

○ 前大会まで当日に会場付近で買っていたが、今大会から会場に審判員用の飲料水を配送するようにした。

× オンラインで購入し会場に直接届くように手配したが会場に上手く届いていないことがあった。

→会場に直接届くようにするのではなく、事務所にまとめて購入しておいて他部署の荷物と同じように必要な本数を郵送する。